



深川林地 (剣淵町)



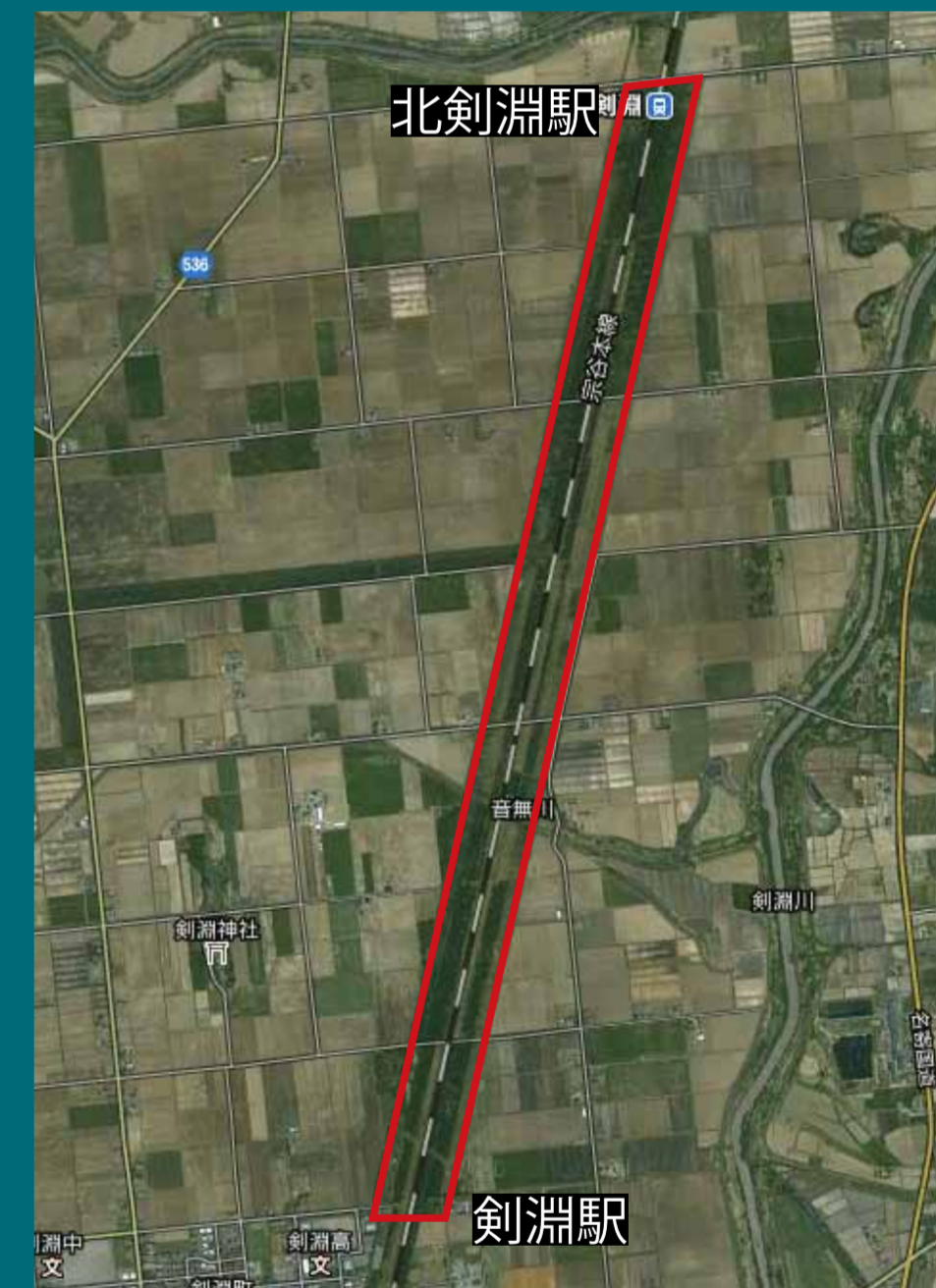
宗谷本線を包み込む深川林地

緑の回廊としても貴重な鉄道防雪林

戦前の北海道では、人員の輸送はもちろん、農産物や森林資源、鉱物資源などあらゆるものの輸送は、鉄路にそのほとんどを頼らなければならなかった。このため、特に冬季間の風雪害から鉄路を守るために、機械力の乏しいこの時代では、鉄道防雪林の造成が至上命題であった。

深川冬至氏は、1926(大正15)年から排水の悪い泥炭地への樹林の育成という、現在でも極めて困難な課題に立ち向かい、様々な研究や工夫により、植栽基盤の改良と適性を見極めた樹種の導入などによって成林に導いたものである。

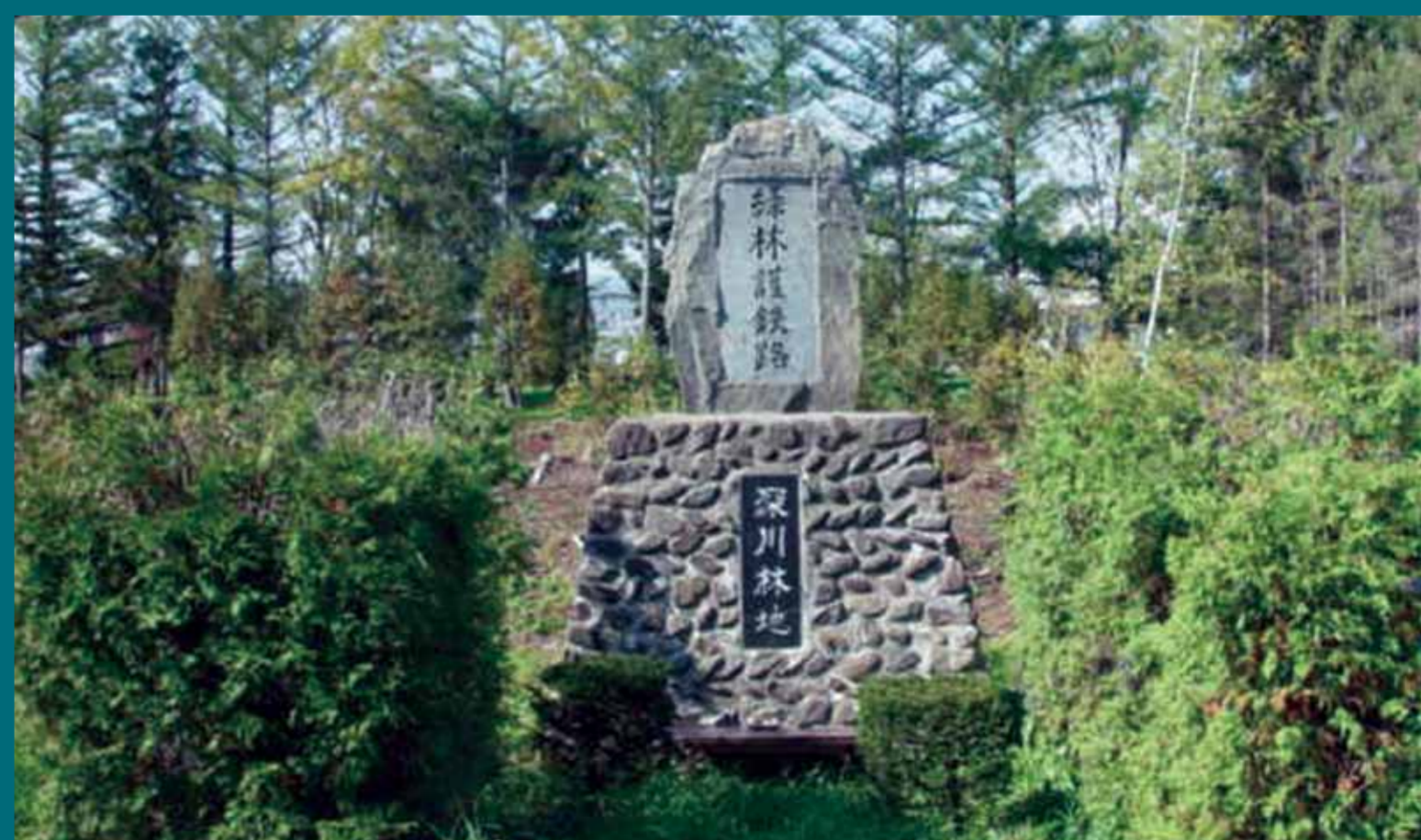
しかし、防雪林造成に心血を注ぐあまり、過労によって1943(昭和18)年には職に殉じてしまう。その功績を称えるために、この防雪林に氏の名前を冠して「深川林地」と命名し、同年鉄道記念林に指定された。悪条件を克服して成立しているこの鉄道防雪林は、地域のランドマークや平地における緑の回廊としても貴重な存在となっている。



深川林地位置

概要

名称	深川林地
所在地	剣淵町
管理者	JR北海道
規模	宗谷本線剣淵・北剣淵間 約12.7km
種別等	鉄道防雪林
整備年	1926(大正15)年以降
2005(平成17)年に土木学会より選奨土木遺産として認定	



「森林護鐵路」と刻まれた顕彰碑